

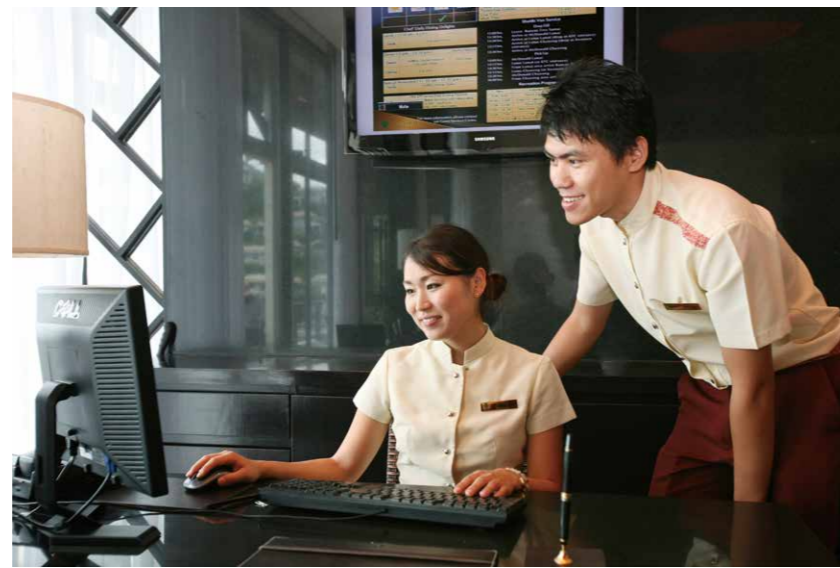


ホテル内は、専用カーでお客様を送迎する。運転に慣れるまでが大変で、実は練習中に1台壊しちゃいました(笑)

チャレンジしてよかった!

Challenge!

つらいこともたくさんありますが、そのぶん日本ではできない体験があったり、素晴らしい出会いがあり、思い切って飛び出してみてもよかったです。国外での転職・ステップアップという選択肢を得られて、将来の視野も広がりました。日本の窮屈さから抜け出して、気持ちに余裕を持ったことも大きいと思います。



チェックアウト情報の確認中。予約時からチェックアウトまで、ゲストと密接に関わり、おもてなしをする



タイ人、外国人スタッフともに仲の良い職場。ソングラン(タイ正月)の時はみんなで水かけをして、本当に楽しかったそう。



同僚とキャンティンでランチ。タイ人スタッフは、わからないことがあるとすぐに手助けしてくれて、本当に優しいです。

タイ語は同僚とコミュニケーションを取りながら実践で勉強中。細かくノートを取り、スマートフォンの辞書アプリやメモ機能も駆使している



ゲストに密着して接客するほか、会計から電話の対応など、業務は多岐にわたる。「仕事量は本当に多いです」と岡本さん



バンヤンツリー・サムイは全室プールヴィラ。ゲストと一緒にホストがついて対応する



ホテルは島東部のラマイに位置し、プライベートビーチの広がる美しいパノラマを一望できる

岡本さんが参加したプログラム

トラジャルインターンシップ 「ホテルインターンプログラム」

トラジャルインターンシップで扱うインターンシップ・プログラムは、1年間で65万円。高級ホテル、クルーズなど研修先は多数あり、自分に合った受け入れ先を紹介してもらえる。インターン期間中は、宿泊、食事、おつかいを提供してくれる受け入れ先がほとんどで、年間の総費用は留学やワーキングホリデーの2分の1から3分の1で済むのが特徴だ。興味のある方は、無料セミナーや個別説明会に参加してみよう!

お問い合わせ トラジャルインターンシップ
☎03-5386-3081(東京)
☎06-6578-0202(大阪トラジャルウエスト)
www.trajal-internship.jp/
プログラム一括資料請求 NO.TRJ1999-48A

インターン後は正社員が目標
これからも海外で暮らしたい
サムイ島もすっかりお気に入りだ。美しいビーチから山岳部、そして歓楽街までそろって3番目に大きな島。

「自然が豊かだし、一方で街に出ればおいしい屋台もある。リゾートとローカルどちらも楽しめるのが魅力。休日はお気に入りのシーフードレストランでビールを飲んで過ごしています(笑)」
日本では味わえない環境を楽しみ、また日本と違う仕事のスタイルも合っているという。
「マニュアルに沿って仕事をする日本と違い、自分のやり方でお客様をもてなせる。マニュアルに縛られず、こうしてあげたいと思ったことができるので、楽しく仕事ができています」
1年間のインターンを終えた後は、タイでの就職を希望している。接客業の正社員をめざすつもりだ。
「日本を出ると、いろいろな人々がいて、刺激があり、まったく飽きません」
南国の島で生きがいを見つけ、スキルを身につけた岡本さん。彼女の飛躍はこれからだ。

し積極的に話しかけ、時にボデイランゲージを使い、打ち解けていった。今は同僚たちにタイ語を教わっているところだ。「自分からどんどん話していけないと、相手も心を閉じてくれない。精神的に強くなったと思います」
ときにはスパやレストランの手配を間違えてゲストに迷惑をかけ、厳しい評価を受けたこともある。何度もミスをしては落ち込んだが、上司から「失敗したからこそ次がある。失敗は成長のチャンス」と言われ、ポジティブに考えられるようになった。いつも明るく笑顔のタイ人スタッフにも支えられている。いい意味で鈍感になれたのかもしれない、という。

「お客様から「ありがとう」と言っていただけだった時は、本当にやりがいを感じます。帰国された方から「今までで一番いい旅でした」とメールをいただいた時は本当にうれしかったです」
「お客様から「ありがとう」と言っていただけだった時は、本当にやりがいを感じます。帰国された方から「今までで一番いい旅でした」とメールをいただいた時は本当にうれしかったです」
「ずっと英語を学んできたし、外に出てみたかった。20代も半ばで最後のチャンスと思いインターンに参加しました」
単なる留学やワーキングホリデーではなく、その後のキャリアアップを考えてホテルのインターンを選んだ。舞台は、それまでに何度か来ていたタイ。忙しい毎日を送りながらも、充実した生活だという。



インターンをステップに夢は海外就職!
南の島のリゾート勤務を楽しんでいます

Internship

2010年オープンのバンヤンツリー・サムイ(Banyan Tree Samui)。おしゃれなライブラリーではチェックアウトが行われる

海外で働く方法 2

インターンシップ in Thailand

取材・文/室橋裕和 取材・撮影/嶋健雄
text: Hirokazu Murohashi photo: Takeo Shima

岡本奈々さん 25歳

高校では英語学科に学び、2年生の時にはニュージーランド留学を経験。外国語大学に進学し、卒業後は建設関係の会社に就職したが、働きながら英語の勉強を続け、インターンに応募。現在はタイ・サムイ島のホテルでインターン中!

タイ屈指のリゾートホテルで忙しくも充実した日々

アジア有数のリゾート地、サムイ島の5つ星ホテル「バンヤンツリー・サムイ」でインターンとして働く岡本奈々さん。業務は、ヴィラ・ホスト(Villa Host)と呼ばれるゲストリレーションで、主に日本人客を担当している。「ひと組のお客様に対して、ご予約時からチェックアウトまですべて担当しますが、ごあいさつのメールを送ることもから始まり、実際にゲストが到着したらチェックインからリゾート内の施設の予約つきりでお世話します。多い時で1日20組以上のゲストを担当しているので、携帯電話は鳴りっぱなしです」
小さい頃から家族と海外旅行に行った

失敗してもポジティブに! 前向きに考えるようになった
ホテルのスタッフは韓国人、中国人、台湾人、そしてタイ人とインターナショナル。共通語はもちろん英語だ。「はじめは、それぞれの国独特の発音に戸惑いましたが、だいぶ慣れました。英語で会話することが日常になっていたので、自然に言葉が出てきます。今も映画をたくさん見て表現を盗むなど、英語の勉強は続けています」
外国人の同僚がいるものの、主力はやはりタイ人スタッフ。すべて英語というわけにもいかない。当初は彼らの間でのりタイ語がわからず困ったそう。孤独感もあり、仕事もはかどらない。しか